



岩井 久  
(シューズショップイワイ  
代表取締役)

和田 節夫  
(札幌地下街商店会  
副理事長/ロシエ 代表)

谷本 美佳  
(HANA+Hana  
ショップマスター)

宮越 明子  
(さっぽろスイーツカフェ 店長)

伊藤 奈央  
(札幌都市開発公社  
営業部主任)

## 扉を開けると「まち」がある！

昨年 40 周年を迎えたポールタウンとオーロラタウン。オープン当初から地下街を見つめてきた方や、

最近仲間入りした方が集まって座談会を実施。それぞれの地下街への想いとは？

**和田：**地下街がオープンして今年で 41 年目になりますが、お店は昔と比べてずいぶん変わりましたね。オープン当初から残っている店舗は、うちとイワイさんを含めて約 30 店舗ぐらいでしょうか。

**岩井：**僕は会社に入ってから 16 年くらい経ちますが、その間店舗には出たり入ったりで。高校生の頃はずっと地下街に入り浸っていました。デートのときは、よくオーロラプラザで時間を過ごして。あの場所は向かいに玉光堂さんがいるので、音楽も聴けて良かった（笑）。そういえば、以前オーロラプラザには、滝のように水が流れ落ちていま

したよね？あそこに、お金を投げている人をよく見かけました。

**伊藤：**オープン当初はオーロラタウンの通路に川が流れていたり、小鳥以外の小動物がいたり、水槽があったりと、今はない演出が結構あったようです。地下街にはいろいろな業種のお店が隣合わせに入っているの、歩いていて面白いですよ。

**宮越：**すすきのに行くなら地下鉄に乗ってしまえば早いんだけど、何となく賑わいを見ながら歩いてしまいます。

**谷本：**やっぱり通路の中にお店があるので、歩きながらいろいろなお店を発見できて、気軽に楽しめるのが地下街の魅力ですね。地下鉄を降りて、ポールタウンの扉を開けると「まちに来た！」という感じがします。

## 地下街の未来は明るい！

**岩井：**オーロラタウンは、通路も店の大きさもゆったりとしていますね。ポールタウンは間口が狭い代わりにたくさんのお店が並んでいて、昔は地元のお店が多かったと聞いています。大通地区は駅前と違って、2 階が住居の個人商店が並んでいた歴史があるから、「誰々さん家（ち）」のような言い方があって。今でもその雰囲気が残っていることは、大通地区の良い所だと思います。

**伊藤：**地元のお店を応援したい気持ちは、私たちにもありますね。

**和田：**地元のおいしい洋菓子のお店を、もっと知ってもらおうということでオープンしたのが、カフェスタイルの洋菓子店アンテナショップ「さっぽろスイーツカフェ」だしね。

**宮越：**5 店以上のケーキ約 40 種類が、毎月まるごと入れ替わっています。ご年配のお客様からは、地下街がオープンした頃の思い出話などもよく聞きますよ。また、3 月の企画として、地下街がオープンした当時の昭和のケーキを再現します。当時を知る方には懐かしく、若い方にとっては新しいお菓子として映るのではないのでしょうか。そうやっていろいろな世代の方に楽しんで頂くことで、地下街がさらに賑わっていかばいいなと思っています。

**谷本：**その企画は楽しみですね。地下街にはたくさんの従業員の方がいらっしゃいますが、お客様と同じくらい大事にしたいと思っています。買い物をするときは極力地下街を利用するようにしていますし、私のお店にもぜひ遊びに来てほしいです。

**宮越：**ご近所付き合いというか、お店同士、声をかけ合っていけるといいですよ。自分のお店の中だけで頑張っている、あまり良くないのかなって最近感じていました。

**伊藤：**お店さん同士の交流も深めて、地下街をみんなで一緒に盛り上げていけるような場所にしていきたいですね。

**岩井：**あと今後は、地域の方とのふれあいも増やしていきたい。やっぱり、地域の方に利用してもらえ場所である

ことも、とても大事なので。

**和田：**6 商店街（一番街、二番街、三番街、四番街、狸小路、地下街）が輪になって、頑張っていきたいですね。市電のループ化も含めて、中心部はこれからまたどんだん形を変えていくので、地下街の人の流れも今後 3 年くらいでがらりと変わりますよ。地下街の未来は明るい！

